



第69期
(平成29年3月期)
決算説明資料

平成 29年 6月26日

トーイン株式会社



証券コード：7923

第69期 決算概要

注意

- ① 本資料に記載の売上高の金額には、消費税等は含まれておりません。
- ② 本資料に記載の金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- ③ 本資料に記載の前年比、構成比等の数値は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

総 括

当連結会計年度の業績については、包装資材事業においては、国内の食品及び日用品分野の売上が前年度比で減少いたしました。化粧品及び医薬品分野の売上は、継続的な企画提案型の営業活動により堅調な受注となり、また、ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）の売上也、増収基調を維持したことなどにより売上高は9,869百万円（前連結会計年度比2.5%増）となりました。精密塗工事業は、前年度後半に落ち込んだ情報端末向け部材の需要が回復せず、新規客先・新規分野の開拓に注力した結果、持ち直しの兆しは出てきたものの、安定的な受注の獲得には至らず売上高は大幅に減少し507百万円（前連結会計年度比53.8%減）となりました。その他事業は、受託包装の受注は前年度並に推移したものの販促品の商品販売が微減となり、売上高は582百万円（前連結会計年度比2.4%減）となりました。この結果、当連結会計年度の全体の売上高は10,959百万円（前連結会計年度比3.2%減）となりました。

利益面については、包装資材事業は、売上が増加傾向にあるベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）は、まだ、固定費の回収に至っておりませんが、国内では主に化粧品分野の売上が増加したことに加え製造部門及び製造間接部門での生産の効率化・安定化に向けた諸施策推進により製造コストが低減したことで大幅に改善いたしました。精密塗工事業は、利益面については、製造コスト削減を徹底してまいりましたが、売上高の減少を吸収するには至らず減益となりました。その他事業は、利益面については、販促品の商品販売が減少したことにより減益となりました。この結果、当連結会計年度の営業損失は104百万円（前連結会計年度営業損失171百万円）、経常損失は127百万円（前連結会計年度経常損失225百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は16百万円（前連結会計年度親会社株主に帰属する当期純損失230百万円）となりました。

<当期のトピックス>

- 平成28年 9月 ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）さらなる受注拡大に向け生産能力の増強を図るため4百万USドルの増資（増資後資本金 11百万USドル（236,030百万ドン））をする。
- 平成28年11月 自己株式250,000株を取得する。
 <取得理由>
 資本効率及び株主還元の更なる向上を図るとともに、経営環境の変化に対応した柔軟かつ機動的な資本政策の遂行を可能とするため。
- 平成28年11月 ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）受注拡大に向けた第二期拡張工事が完了し、生産ラインを増強する。
- 平成29年 3月 新たなコンセプトが搭載された印刷機を導入し、本稼動に向け試運転を開始する。

第69期 連結損益計算書

(単位：百万円)

	第69期		第68期		対前期比	備 考
売 上 高	10,959	% 100.0	11,321	% 100.0	△ 362	—
売 上 原 価	9,371	85.5	9,773	86.3	△ 402	—
売 上 総 利 益	1,588	14.5	1,548	13.7	40	—
販売費及び一般管理費	1,692	15.4	1,719	15.2	△ 26	—
営 業 利 益	△ 104	△ 1.0	△ 171	△ 1.5	67	—
営 業 外 収 益	40	0.4	41	0.4	△ 1	—
営 業 外 費 用	64	0.6	96	0.8	△ 31	—
経 常 利 益	△ 127	△ 1.2	△ 225	△ 2.0	97	—
特 別 利 益	217	2.0	16	0.1	200	投資有価証券売却益 147
特 別 損 失	14	0.1	11	0.1	2	—
税金等調整前当期純利益	74	0.7	△ 220	△ 1.9	295	—
法 人 税 等	86	0.8	5	0.1	80	—
当 期 純 利 益	△ 11	△0.1	△ 226	△ 2.0	214	—
非支配株主に帰属する 当 期 純 利 益	5	0.0	4	0.0	0	—
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	△ 16	△ 0.2	△ 230	△ 2.0	213	—

第69期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	第69期		第68期		対前期比	備 考
流動資産	7,130	42.4%	6,706	41.7%	424	現金及び預金 335、電子記録債権 342 信託受益権 △264
固定資産	9,685	57.6	9,366	58.3	319	—
有形固定資産	7,344	43.7	7,195	44.7	149	機械及び装置 △138、建設仮勘定 273
無形固定資産	62	0.4	73	0.5	△ 10	—
投資その他の資産	2,278	13.5	2,098	13.1	180	投資有価証券 180
繰延資産	0	0.0	4	0.0	△ 3	—
《資産合計》	16,817	100.0	16,077	100.0	739	—
流動負債	4,867	28.9	4,542	28.3	325	一年以内返済長期借入金 76 未払金 117、未払法人税等 71
固定負債	3,293	19.6	3,026	18.8	267	長期借入金 249
《負債合計》	8,161	48.5	7,568	47.1	592	—
株主資本	7,914	47.1	8,110	50.4	△ 196	—
資本金	2,244	13.3	2,244	14.0	—	—
資本剰余金	2,901	17.3	2,901	18.0	—	—
利益剰余金	3,371	20.0	3,456	21.5	△ 85	繰越利益剰余金 △75
自己株式	△ 603	△ 3.6	△ 492	△ 3.1	△ 110	—
その他の包括利益累計額	700	4.2	361	2.2	338	その他有価証券評価差額金 203 退職給付に係る調整累計額 101
非支配株主持分	40	0.2	37	0.2	3	—
《純資産合計》	8,655	51.5	8,509	52.9	146	—
《負債 純資産合計》	16,817	100.0	16,077	100.0	739	—

第69期 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

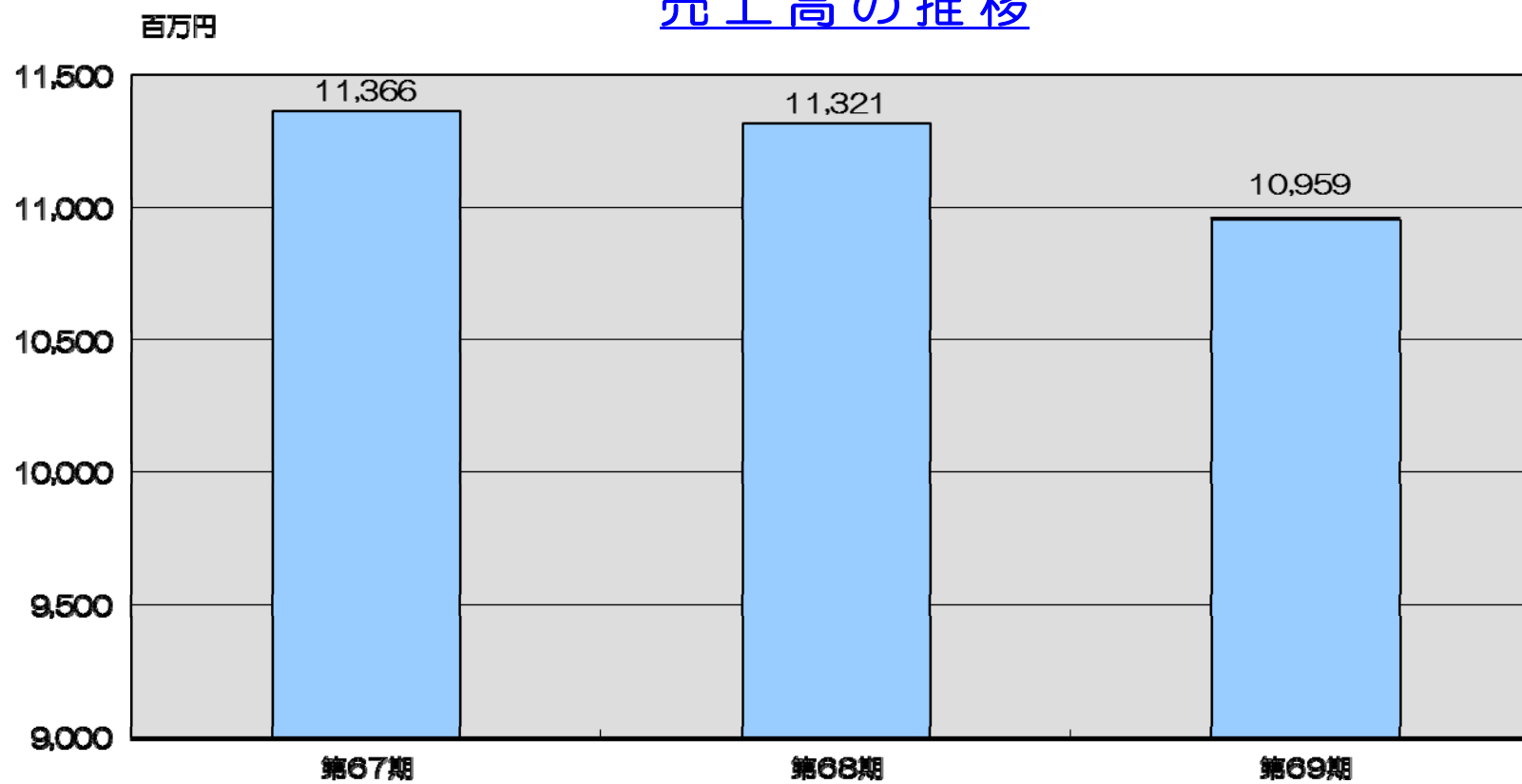
	株 主 資 本					計	そ の 他 包 括 利 益 累 計 額	非 支 配 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 株 己 式					
当連結会計年度期首残高	2,244	2,901	3,456	△ 492	8,110	361	37	8,509	
当連結会計年度変動額									
剰余金の配当			△ 68		△ 68			△ 68	
親会社株主に帰属する 当期純利益			△ 16		△ 16			△ 16	
自己株式の取得				△ 110	△ 110			△ 110	
株主資本以外の項目の 当期変動額					—	338	3	342	
当連結会計年度変動額合計	—	—	△ 85	△ 110	△ 196	338	3	146	
当連結会計年度末残高	2,244	2,901	3,371	△ 603	7,914	700	40	8,655	

第69期 連結キャッシュ・フロー計算書

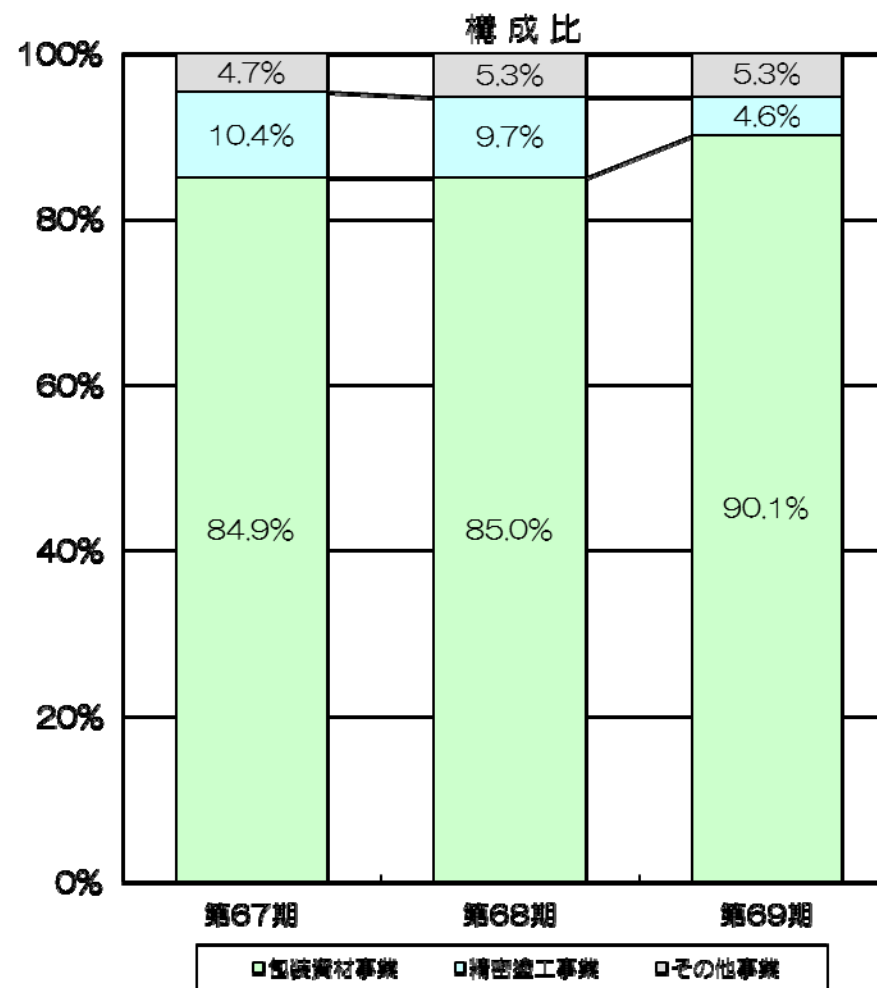
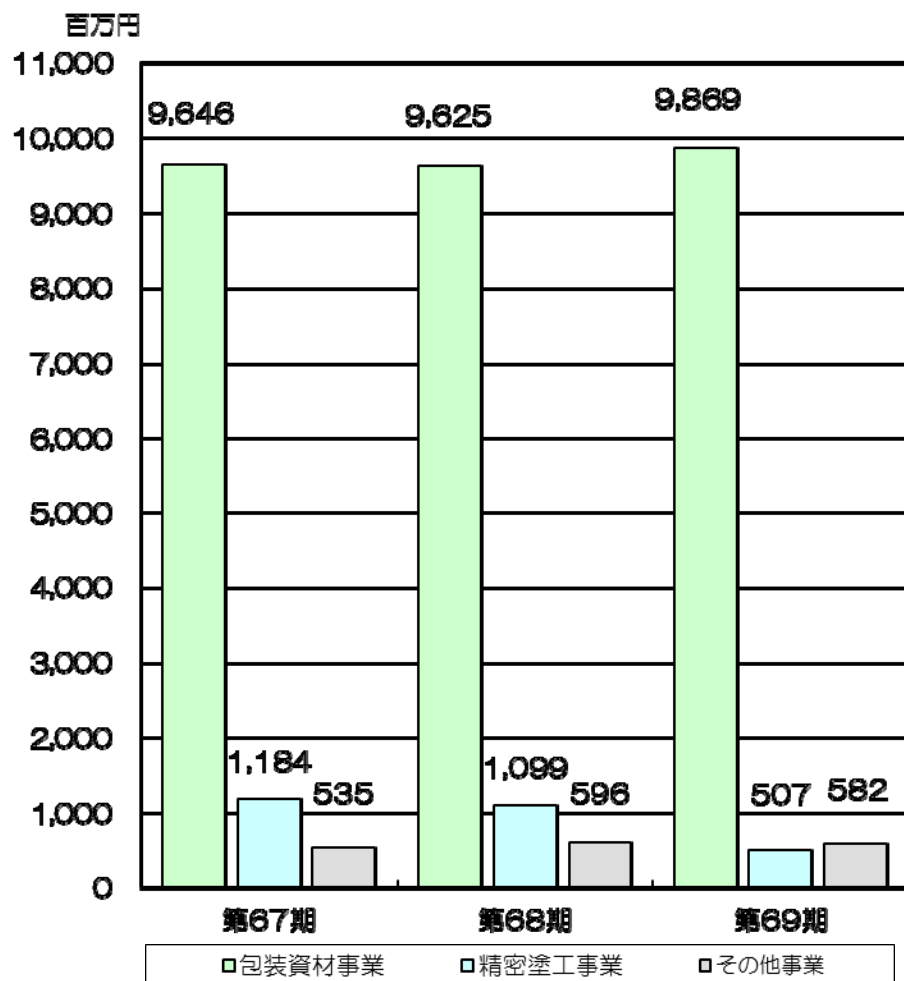
(単位：百万円)

	第69期	第68期	備 考
営業活動によるキャッシュ・フロー	630	479	税金等調整前当期純利益 74 減価償却費 727
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 397	△ 1,002	有形固定資産取得支出 △ 622 投資有価証券売却収入 273
財務活動によるキャッシュ・フロー	111	124	借入金の純増額 325 自己株式取得支出 △ 110 配当金の支払 △ 68
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 9	△ 33	
現金及び現金同等物の増減額	335	△ 431	
現金及び現金同等物の期首残高	2,059	2,491	
現金及び現金同等物の期末残高	2,395	2,059	

売上高の推移

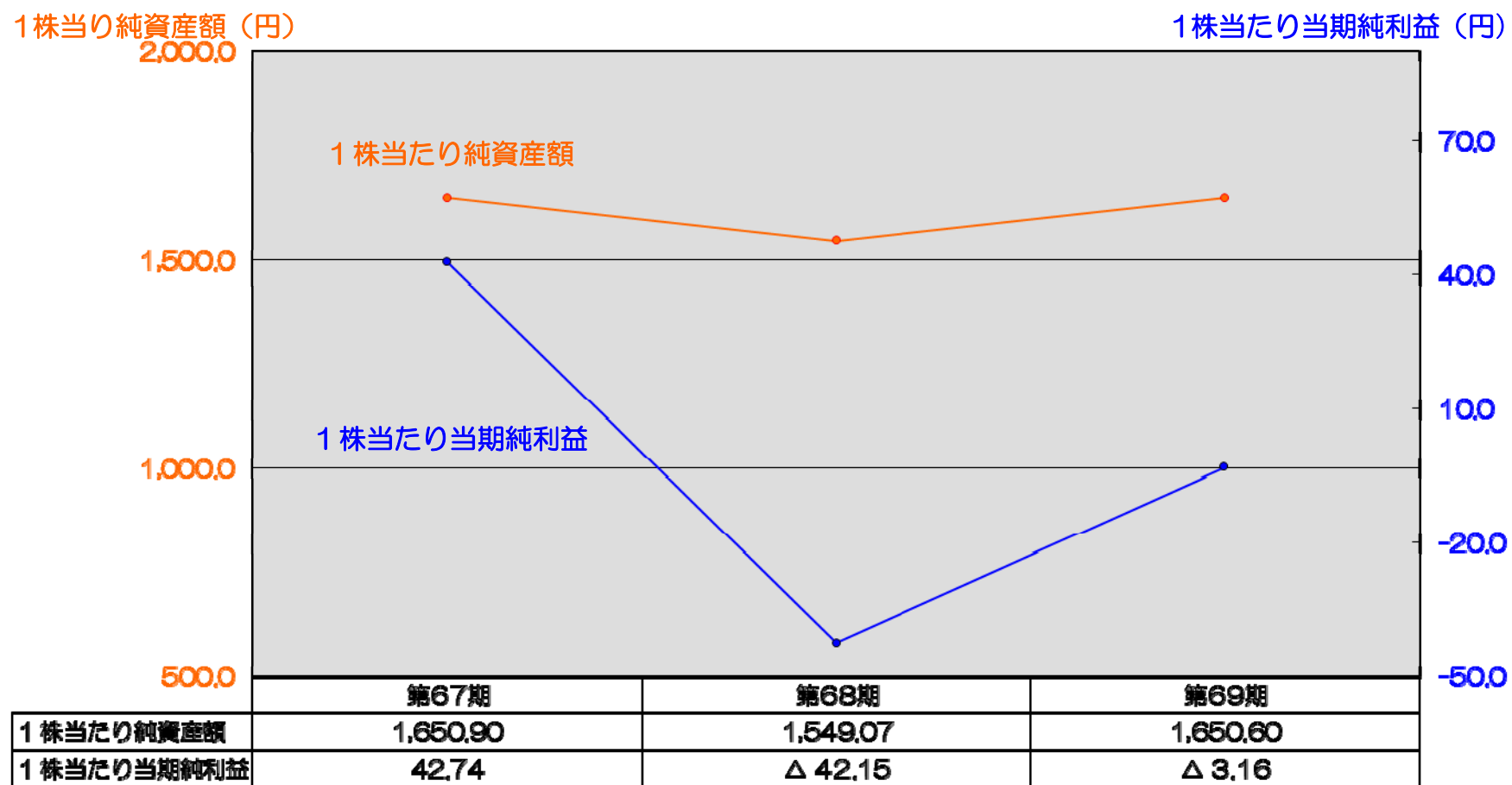


事業別売上高

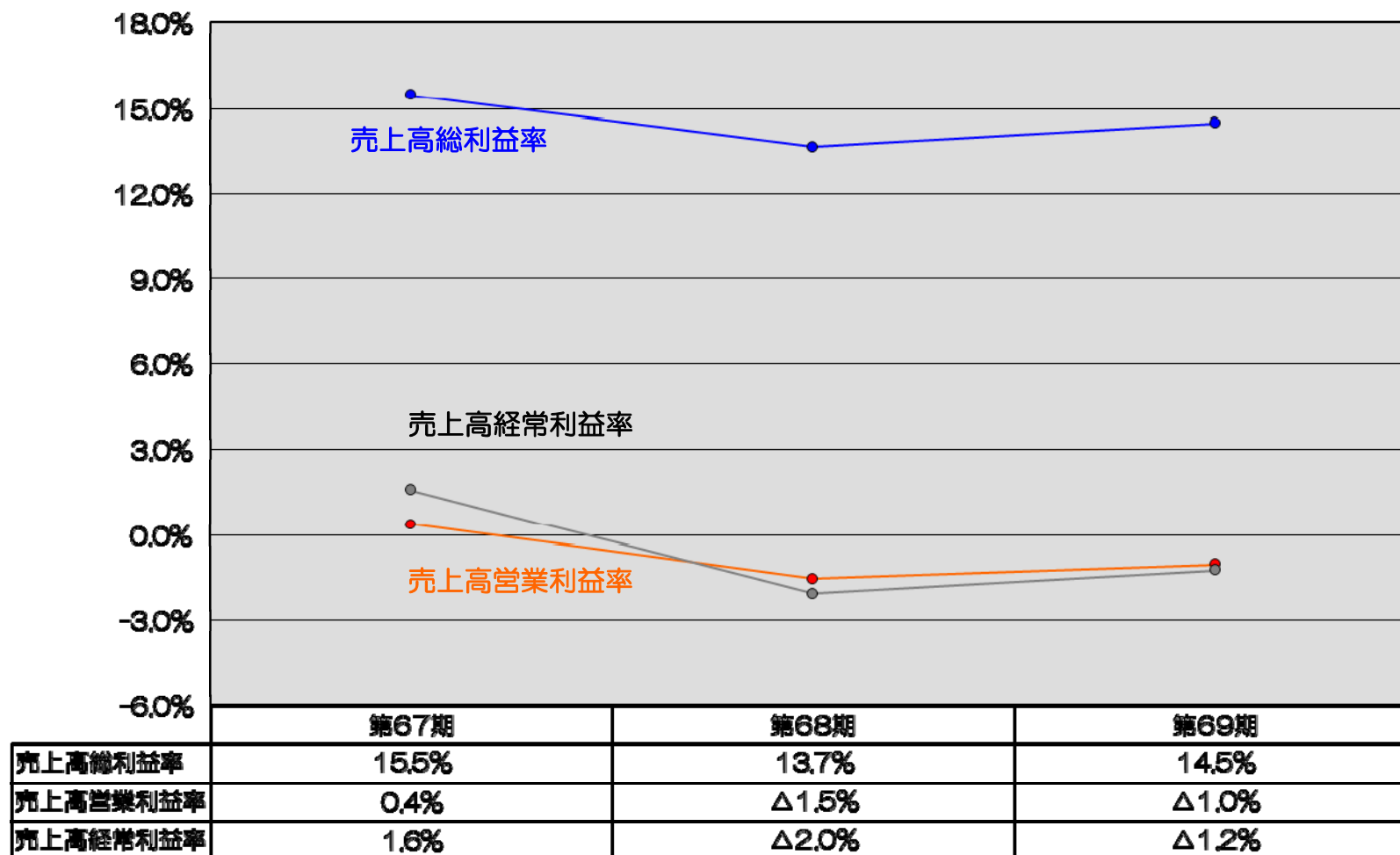


經營指標

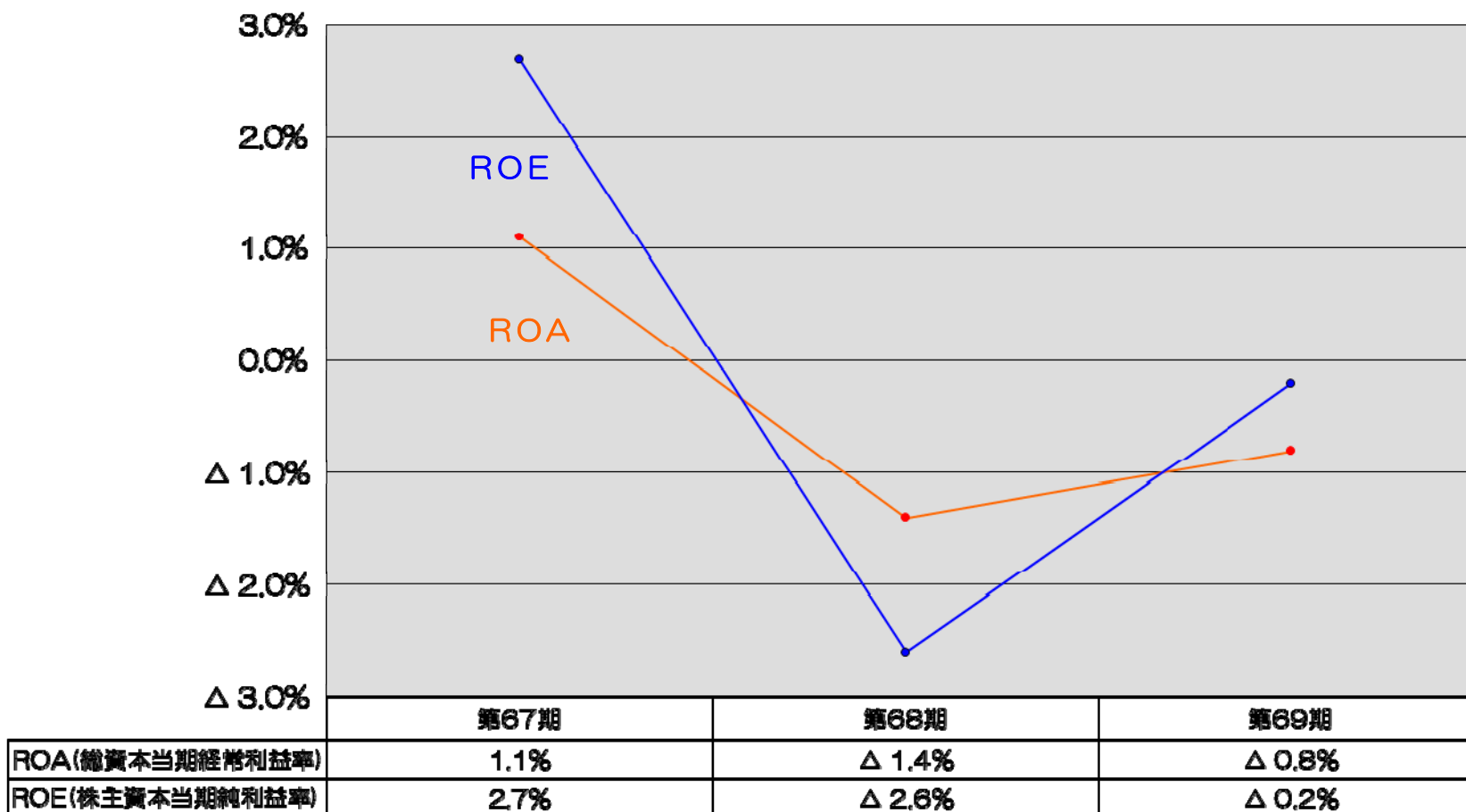
経営指標 I



経営指標Ⅱ



經營指標Ⅲ



第70期
(平成30年3月期)
連結業績予想

第70期の業績予想について

今後の見通しについては、わが国経済は、海外経済の持ち直しを背景に輸出や生産の増加が期待されることや政府の経済政策による公共投資が下支えするなどにより、景気は回復基調をたどると見込まれますが、米国の保護主義政策やその他海外の政治・経済情勢への漠然とした不安が継続するなど先行き不透明な状況で推移すると思われま

す。包装資材業界においては、人手不足を背景に雇用環境の改善は続くと思込まれ消費者マインドに明るさが見られるものの企業の人件費増加への慎重姿勢や資源価格や物価の上昇、少子高齢化による将来不安での節約志向などで個人消費に力強さが欠けることも予想されます。

このような状況のもと、当社グループは、従来からの商品別にパッケージ事業と機能材事業に分け、各々生産と販売を一体として、統括役員が利益責任を負う事業統括体制から、組織を大きく営業部門と生産部門に分け、それぞれに特化した統括役員（営業統括・生産統括）を配置し、事業統括体制で培われた経験と知見を活かしながら所管する組織の目的達成を重視する体制へと変更いたしました。包装資材事業については、まず営業面で、引き続き企画提案型の営業活動を継続し、特に化粧品及び医薬品分野のさらなる受注拡大とラベル部門での新規分野・新規客先の開拓に積極的に取り組むとともに、より採算性を重視した受注活動に注力してまいります。また、ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）及びタイ現地法人（TOIN (THAILAND) CO., LTD.）は既存客先からの増注を図るとともに、東南アジア全域の日系企業、外資系企業ならびにベトナム及びタイ国内のローカル大手企業を対象に新規開拓を強化してまいります。生産面においては、諸材料等の内製化、高効率設備の導入と定着化、品質管理のさらなる徹底、予防保全策の強化等を推進するとともに、ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）は、新規設備を有効活用するための諸施策の実行と内部管理体制の改善・強化を図り、当社グループの収益基盤の強化に努めてまいります。精密塗工事業については、営業体制の強化、展示会への出展を継続することでのマーケティング力の強化、原材料メーカーとの共同による新商品開発などで、新規客先・新規分野の需要先の開拓を推進するとともに、生産面では、引き続き高品質な商品提供ときめ細かなサポートにより売上の拡大・安定と収益性の向上を目指してまいります。その他事業については、デザインからアッセンブルまでの一貫性をセールスポイントに、医薬部外品・化粧品・食品製造の許認可を活用しつつ、さらに食の安全を意識した認証の取得を目指し、定期的な商品の受注獲得に注力するとともに、フレキシブルな生産体制の編成、機械化の推進等、生産性の向上に向けた取り組みと品質保証体制を一層強化し、コスト競争力の強化に努めてまいります。

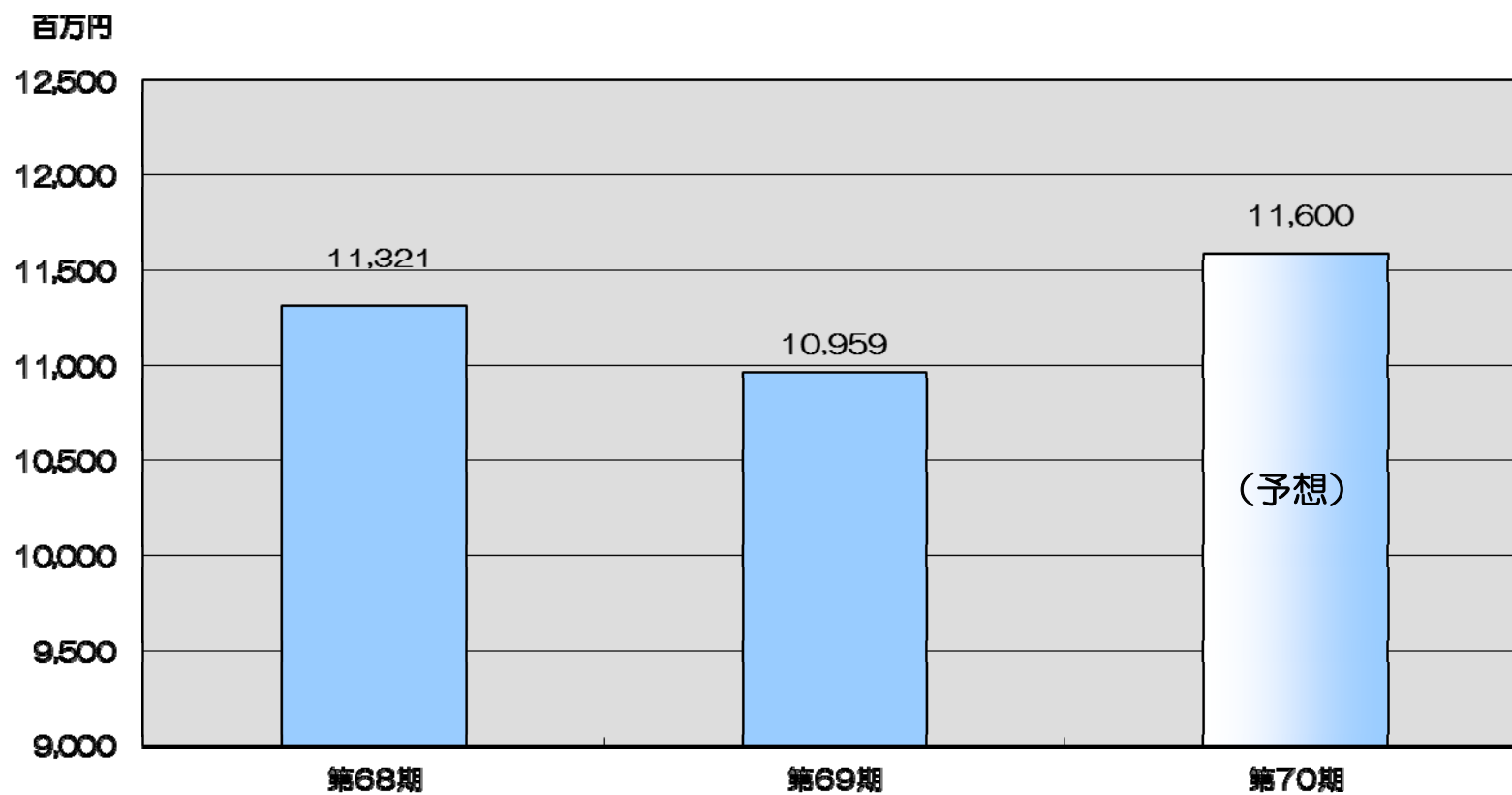
この結果、次期の見通しは、売上高11,600百万円、営業利益100百万円、経常利益80百万円、親会社株主に帰属する当期純利益20百万円を見込んでおります。

第70期の連結業績予想

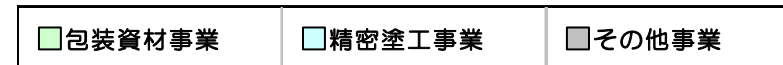
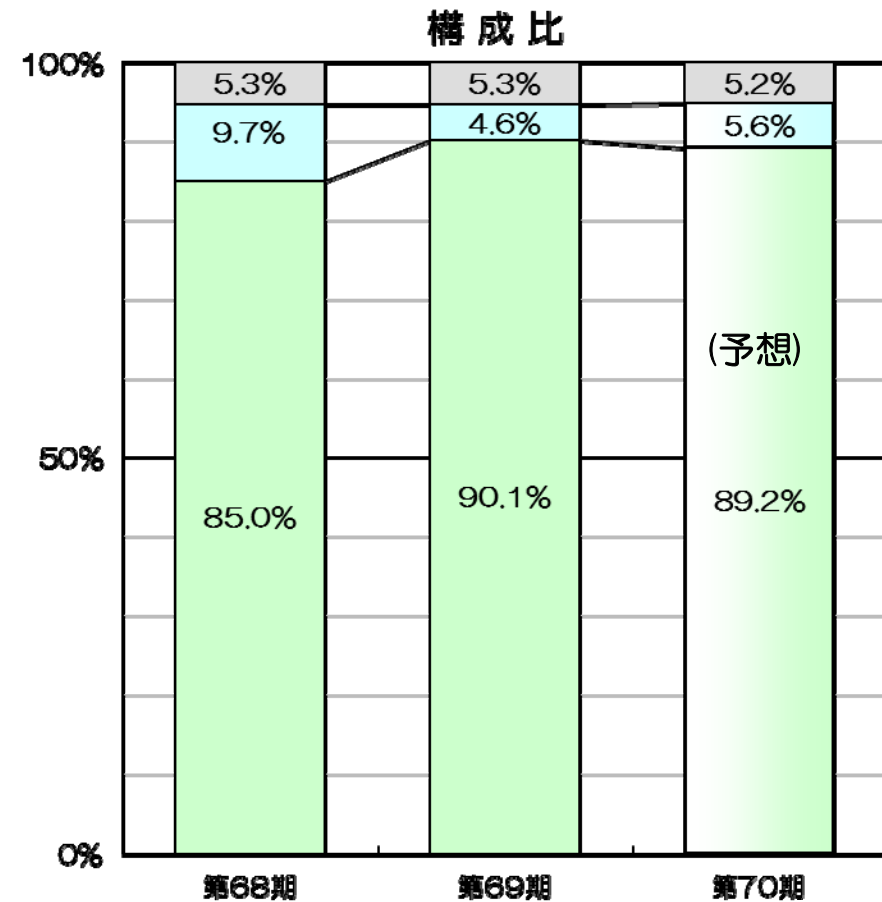
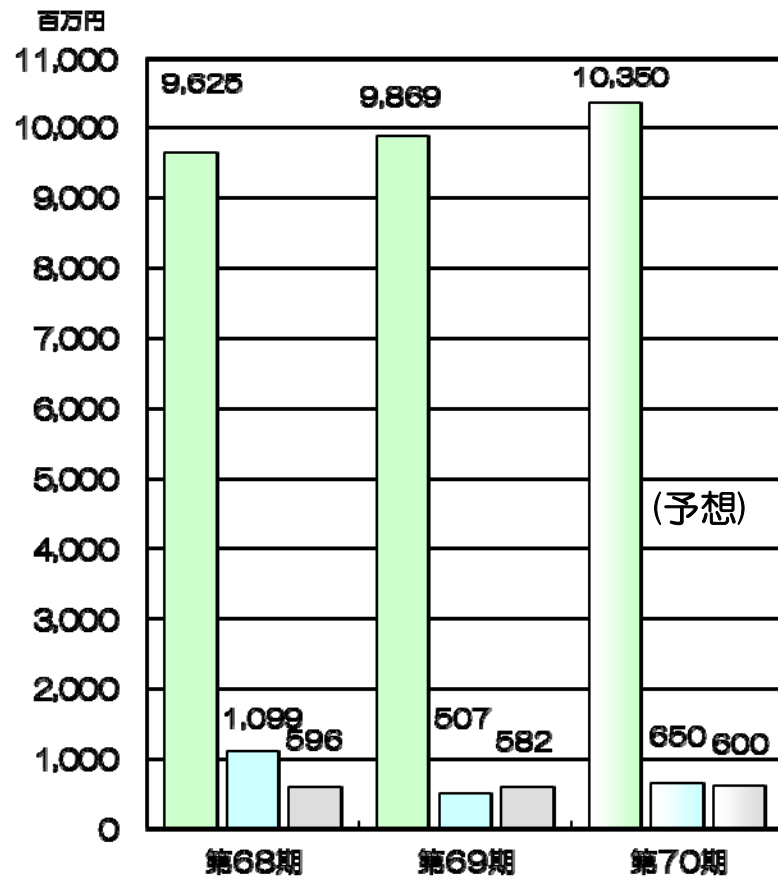
(単位：百万円)

	通 期(予想)	
売 上 高	11,600	% 100.0
営 業 利 益	100	0.9
経 常 利 益	80	0.7
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	20	0.2

通期売上高



事業別売上高



経営の基本方針

当社は、経営理念に基づき、お客様の立場にたって、包装資材事業を中心とした製品に関する様々なニーズにお応えすることが豊かな社会への貢献につながるものと考えます。

またグローバルな企業競争下の社会環境において、長年の知識と技術力を基礎に技術革新に励み“よきモノづくり”を極め、きめ細かいサービスによりお客様のご要望にお応えすることを目指しております。

<経営理念>

- お客様に学べ、それが社会への貢献につながる
- 技術革新に挑め、それが会社の発展につながる
- 夢と利益を追い、それが皆の幸福につながる

企業行動規範

- ① 私たちは、社会への奉仕と貢献、社会的信用を重視し、本業による適正な利益を追求します。
- ② 私たちは、未来の真に豊かな社会の実現のため、環境破壊と汚染の防止に積極的に取り組みます。
- ③ 私たちは、社会との良好な連帯に努めるとともに、反社会的な勢力および団体等と一切関係を持ちません。
- ④ 私たちは、法律・規則を遵守し、さらに社会的・道義的責任を自覚し、節度と良識ある行動に努めます。
- ⑤ 私たちは、重要な会社情報を最善の注意をもって取扱い、適時に開示します。また、インサイダー情報を不正に利用した株式の売買等を行いません。
- ⑥ 私たちは、お客さまに感謝の念と誠意をもって接し、お客さまの満足と信頼を大切にします。
- ⑦ 私たちは、時代の変化・要求をとらえた新技術、新製品を開発し、より良い製品とより良いサービスを社会へ提供して行きます。
- ⑧ 私たちは、礼節を重んじ、相手の立場を尊重し、より高い人格の形成と差別のない明るい公平な社会の実現に努めます。
- ⑨ 私たちは、「安全と健康は全てのものに優先する」を基本とし、より安全で快適な職場をつくります。
- ⑩ 私たちは、自らの専門技術と知識を高め、自由活発な意見交換を通じて、創造性豊かな、活力ある企業集団にします。

トーン株式会社

《事業所》

◎東京本社

〒136-0071 東京都江東区亀戸1-4-2
TEL：03-5627-9111(代) FAX：03-3638-1134

◎大阪営業所

〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-1-27
TEL：06-6136-4351(代) FAX：06-6136-4363

◎本店・柏工場

〒277-0804 千葉県柏市新十余二16-1
TEL：04-7131-2111(代) FAX：04-7132-6937

◎野田事業所

〒270-0237 千葉県野田市中里231-5
TEL：04-7120-8805(代) FAX：04-7120-8017

《子会社》

◎TOIN(THAILAND)CO., LTD. (トーンタイランド)
タイ王国バンコク市

◎TOIN VIETNAM CO., LTD. (トーンベトナム)
ベトナム社会主義共和国ビンズン省

《関連会社》

◎Printing Solution Co., Ltd. (P S C社)
タイ王国バンコク市



○ホームページURL <http://www.toin.co.jp>

○本資料に関するお問合せ

経営企画部 TEL：03-5627-9111 FAX：03-3638-1131